

死って何だろう？

～本・図書館・哲学・怪・語り継ぎを巡る専門家の視点から～

『死』って何だろう——？ 自身が、家族が、大切な人が、その問題に直面した時に、私たちは何を考え、何を頼り、何を受け入れ、諦めるのか。どこに辿り着くのか。

その一方で、不安にも思う。いざ直面すると、何を信じていいかわからない。でも、知りたい。聞きたい。語りたい。共有したい。私たちは『死』について、誰に何を聞けばいいんだろう。今回の企画はそんな素朴な思いから立ち上がりました。

本シンポジウムでは、「本・図書館・哲学・怪・語り継ぎを巡る専門家」たちが鼎談形式でそれぞれの視点から『死』って何だろう？」をやさしく語り合います。

主催：田原市図書館

企画：ばったり堂

登壇者（詳細は裏面）

岩内 章太郎（いわうち しょうたろう）
豊橋技術科学大学准教授 / 専門は現象学を中心とした哲学。「市民性」と「共生」をキーワードにして、全国で哲学対話を実施 / 著書に『星になっても』（講談社）

島田 尚幸（しまだ なおゆき）
妖怪文化研究家 / あいち妖怪保存会共同代表 / 私立東海中学校教諭 / 防災士

豊田 高広（とよだ たかひろ）
フリー・ライブラリアン / フルライトスペース株式会社研究員 / 大学非常勤講師（愛知大学・愛知淑徳大学他） / 前・田原市図書館長

内浦 有美（うちうら ゆみ）
株式会社うちうら（ばったり堂）代表。地域資源の発掘・地域魅力発信を行う。「豊橋妖怪百物語」（豊川堂）。田原市図書館協議会委員

2025
12.7  会場 田原文化会館
多目的ホール
午後2時～4時（開場1時30分）

定員 200 名（受付順）・無料

申込み：11 月 4 日から図書館
カウンター、電話、または Logo
フォーム（QR コード）にて受付

